

敬学会賞第四十五回入選作品

平成 3 年
117

岩淵賞

めずらしい名字と土地名の

読み方と由来調べ

・動機	3
A 名字	5
・名字について	7
・日本人の名字の多い順番	9
・各県の特ちょう的な名字	11
・名字調べ	11
・山形市	13
①多い名字	13
②めだった名字	13
③めずらしい名字	15
④ハガキを出した人	17
・米沢市	25
①多い名字	25
②めだった名字	25
③めずらしい名字	27
④ハガキを出した人	29
・尾花沢市	35
①多い名字	35
②めだった名字	35
③めずらしい名字	37
④ハガキを出した人	39

・新庄市	45
①多い名字	"
②目だった名字	"
③めずらしい名字	47
④ハガキを出した人	49
・鶴岡市	55
①多い名字	"
②目だった名字	"
③めずらしい名字	57
④ハガキを出した人	59
・番外編	65
・私の家の場合	69
B 地名	70
・地名調べ	72
・県内のめずらしい地名	73
・真室川町	76
・尾花沢市	80
・飯 豊町	84
C. まとめ	88

研究の動機

電話帳を見ていたら、読み方のわからない名字や、面しろい名字があったので、めずらしい名字、土地名は、いったいどのくらいあり、どんな読み方、由来を持っているのかと思って始めました。

調べたいこと

- ・山形県で一番多い名字は何か
- ・米沢・山形・新庄・尾花沢ごとに
調べる

- ・町・村の名前を調べる

研究計画

調べたいことと研究していく順序	方法	いつ
・親せきに問い合わせる	電話する	
・正確な物を問い合わせる	市役所に連絡する	
・土地名を調べる	地図帳を見る	
・由来を調べる	本を見る 市役所などに聞く	
・実際にその土地に行ってみる		
・名字の統計を出す		
・土地名の由来を書く		
・まとめ	感想を書く、まとめ	

A. 名字

名字について

④その家を表わすための名

⑤昔、京都藤原氏一族は、分家していった家を、住んでいる場所ごとに、『一条』『二条』とよび合っていた。

⑥三浦半島に住んでいた平の一族の頭領が三浦と呼ばれていて、その他の分家していった人々は、和田・逸見・津久井などと、住んでいる地名で呼び合っていた。

⑦しよ民は、特別の場合を除いては、名字を使うことが出来ず、職業名や家の所在地の特长などで、呼びあっていた。

⑧部落内での呼び名は、屋しき名と家族の地位などを組み合わせて、『西の家のおやじ』とか、『東の方の川の前のばあさん』とか、呼び合っていた。

⑨1870年(明治3年)に、一般の人々にも、名字をつけることが許された。

④ 8年後の1878年(明治11年)に、すべての人々は、
名字をつけることを義務づけられた。

④ 1898年(明治33年)には、名字を家ごとに
つけられるようになった。

④ 分家の場合は、本家の名字を名乗ること
が原則になった。

④ 親子や夫婦は、原則的に、同じ名字を
名乗るようになる

日本の名字

日本人の名字の多い順番 (1983年)

1 鈴木	12 山田	23 中島	34 阿部
2 佐藤	13 吉田	24 山崎	35 和田
3 田中	14 佐々木	25 橋本	36 太田
4 山本	15 井上	26 森	37 小島
5 渡辺	16 木村	27 池田	38 島田
6 高橋	17 松本	28 石川	39 遠藤
7 小林	18 清水	29 内田	40 田村
8 中村	19 林	30 岡田	41 高木
9 伊藤	20 山口	31 青木	42 中野
10 斎藤	21 長谷川	32 金子	
11 加藤	22 小川	33 近藤	

各県の特ちょう的な名字 (1983年)

(北海道・東京・大阪を除く)

青森県	工藤	葛西	対馬	茨城県	飛田	倉持	根本
岩手	久慈	浅沼	古館	栃木	増淵	君島	半田
宮城	庄司	今野	早坂	群馬	都丸	木暮	反町
秋田	照井	浅利	畠山	埼玉	新井	蓮見	黒須
山形	富樫	奥山	大場	千葉	石井	白鳥	湯浅
福島	安斎	矢吹	宗像	神奈川	石渡	石綿	露木

山梨県	望月	雨宮	古屋	広島県	高垣	佐伯	檀上
長野	石瀬	牛山	藤森	山口	吉武	重松	末広
新潟	関川	笹川	南雲	鳥取	山根	山耕	小谷
静岡	杉山	大石	神谷	島根	野津	勝部	錦織
愛知	水野	鬼頭	木全	香川	香西	宮武	福家
岐阜	篠田	可児	棚橋	愛媛	越智	清家	桧垣
三重	出口	川北	大市	徳島	美馬	群	鈴江
富山	金森	永見	鍛冶	高知	浜田	公文	入交
石川	泉	谷口	越川	福岡	花田	石橋	城戸
福井	白崎	坪川	坪田	佐賀	古賀	副島	江頭
滋賀	奥村	外池	馬杉	長崎	岩永	林田	浦
京都府	糸井	衣川	四方	熊本	緒方	赤星	古関
兵庫県	室井	阪上	笹倉	大分	首藤	御手洗	姫野
奈良	喜多	辰巳	巽	宮崎	黒木	日高	長友
和歌山	島	雑賀	貴志	鹿児島	伊集院	伊地知	鮫島
岡山	三宅	難波	白神	沖縄	金城	平良	比嘉

名字調べ

方法

①山形市. 米沢市. 尾花沢市. 新庄市
鶴岡市の五市を調べる。

②N T T山形支店に行き五市の電話帳を
もらてきた。

③各市の名字を多い順番に調べる。

④その市だけに多い名字を調べる

⑤各市で見つけた非常にめずらしい名字を選ぶ

⑥めずらしい名字の人達に質問を書いた
ハガキを出す。

⑦返事をくれた人達のハガキをノートにまと
める。

山形市

①多い名字

1位 佐藤

2位 鈴木

3位 高橋

4位 斉藤

5位 伊藤

②その市で目だた名字

鍮水 (やりみず)

遊佐 (ゆざ)

城戸口 (きどぐち)

蜂屋(谷)(はちや)

① めずらしい名字

阿武隈川 (あぶくまがわ)

縣 (あがた)

角張 (かくはり)

玄地 (げんち)

玉虫 (たまむし)

梅瀬 (とがせ)

明日 (あすか)

帯刀 (たいとう)

曳沼 (ひしぬま)

調所 ()

猿谷 (さるたに)

油井 (ゆい)

特にめずらしく質問のハガキを

出した人

見本

こんにちは

私は山形市立第二小学校六年の松本陽子といいます。

私の学校には、一年を通してやる、敬語会という自由研究があり、今年、私は、めずかしい名字や土地名の読み方や由来を調べています。

いそがしいところ、大変申し訳ありませんが、返信ハガキの質問に答えていただき、ポストに入れただけないでしうか。

どうかよろしくお願いします。

なお、名前は電話帳で調べさせてもらいました。

この折り目を内側にして折って差し出してください。

山形市木の実町2-19

松本陽子行

郵便往復はがき

9990-□□



NIPPON 日本郵便

返信

③ バガキを出した人

。山形市下宝沢 550

鞠子 利一さん

質問

NO.1. なんと読みますか

鞠子 (新子いぢ)

NO.2. 出身地やついた由来はわかれますか

出身地は静岡県と書いてあります

NO.3. そういう名は沢山ありますか

下宝沢でわ せけんです(小田川)にせけん
です

NO.4. その他ぬすらしい地名や名字なん
でもいいので知っている事を教えて下さい。

協力ありがとうございました。
どうぞポストに入れて下さい。

。手鞠を作,たりしていたのかと思,て,

選んで,みました。

山形に 9 けんとは思,ていたより多か,たです。

山形市平清水 1~11~35

幸福 健郎さん

質問

NO.1. なんと読みますか

幸福(こうふく)

NO.2. 由来はわかりますか

どうゆゑ由来かわきいへありません
のでわかりません。たゞ大昔は小野
姫と名づけて小福となつたそのあとに幸福
となつたといふ事よりです。

NO.3. 同じ名字の人はたくさんいますか

山形には種類で酒田市に一軒山形
市には二軒だけあります。

NO.4. その他知っている事など教えてください

その外に鹿角島には一軒村として
幸福姓となつてゐる処があるといふ
か戦前そのお身の方と文通したと
かありましたが今はとまらぬ
大分前ですがテレビ番組で珍名としてゆづり
横須賀市の人と同じ姓となつてゐる人がありまして
協力ありがとうございました
どうぞホーストに入れて下さい

。いい名字なので選んでみました。

山形では少ないけれど一部落で同じ名字かあ
るとは知らなかつた。

山形市あかねヶ丘 1～13～4
桔梗 昌治 さん

質問

NO.1. なんと読みますか

桔梗(ギギョウ)

NO.2. 由来はわかりますか

わかりません、私に
三代目のお母ですか。

NO.3. 同じ名字の人は、たくさんいますか

山形市で3軒だけです

NO.4. その他知っている事など、教えて下さい

先祖は福島の方ですか

詳しい事はわかりません

家号(山形)1巻1. 庄田/あかね

協力ありがとうございました。
どうもポストに入れて下さい。

花の名前と同じだったのを選びました。
思ったよりも少なかったです。

① 多い名字

1位 佐藤

2位 鈴木

3位 高橋

4位 遠藤

5位 斉藤

② その市で目だった名字

安部 (あべ)

吾妻 (あづま)

島貫 (しまぬき)

皆川 (みながわ)

我妻 (わがづま)

穴戸 (ししど)

平 (たいら)

④ めずらしい名字

赤井 橋 (あかいばし)

網 代 (あじろ)

穴 沢 (あなざわ)

大比 良 (おおひら)

嘉 規 (か き)

窪 田 (くぼた)

西 京 (さいきょう)

志 摩 (し ま)

菰 戸 (のぞき)

雫 侃 (じゅんか)

弟 月 (おとづき)

売 間 (うるま)

九 里 (くのり)

③ハガキを出した人

米沢市 万世町 桑山 617

縮 満さん

○読み方がわからなく、めずらしい名字
だったので、選びました(たぶん「ちぢみ」
だと思います)

残念なかう返ってきませんでした。
万世桑山という地区に、12〜13軒縮さん
がいました。

。米沢市松ヶ岬 2-16

行方 源三郎さん

質問

NO.1. なんと読みますか

行方(なめかた)

NO.2. 由来はわかりますか

昔士族、平民とア籍に
分かれて居て 上杉家の浅間と
玄富士の分家で「すか」行方家は遠く

NO.3. 同じ名字の人はたくさんいますか

米沢には軒有り、親類は5軒
です。

NO.4 その他知っている事など教えてください

茨城県霞ヶ浦の東に^{なめかた}行方郡
があり 郡内に潮臼村や王造り村
があります

正式な呼び方は(なめかた)と書^{ます}か

協力ありがとうございました
どうもポストに入れて下さい

。米沢ではよく聞く名字なので選びました。

米沢市 広幡 上小菅 295

色摩 一郎 さん

。おもしろい漢字だったので選びました。
残念ながら返ってきませんでした。

広幡 上小菅という地区に、30軒以上ありました。

「ノカマ」と読むそうです。

①多い名字

1位 高 橋

2位 菅 野

3位 鈴 木

4位 佐 藤

5位 加 藤

②その市で目だった名字

大 貫 (おおぬき)

押 切 (おしきり)

戸 津 (と づ)

構 越 (みぞこし)

国 分 (こくぶん)

有 路 (ありじ)

④ めずらしい名字

永 登 (えいとう)

壺 谷 (いちたに)

市 倉 (いちくら)

菅 (かん)

鶴 (つる)

二 藤 部 (にとうべ)

羽 昨 (はすみ)

渡 会 (わたらい)

③ハガキを出した人

○尾花沢市銀山新畑 56

薮 未吉 さん

○尾花沢に、たった1軒しかない名字なの
で選びました。

○残念ながら返ってきませんでした。

○事典などで調べると「トミ」と読んで

質問

①. なんと読みますか

薮 (しとみ)

②. 由来はわかりますか

いばらき県の水戸市の方の出身
であが、くわいことは知りません

③. 同じ名字の人は、たくさんいますか

④. No. 2に書いた如く、水戸市にいます

⑤. その他、めずらしい地名や名字など、
知っている事を教えて下さい。

「薮」というのは(高校生になると古典という
授業で「たけうり」であが)今という字のことは昔は
「薮」と言っていたので、そのことが関係しているのでは

協力ありがとうございました。
どうぞポストに入れて下さい

尾花沢市正敷 560-1

江刺 吉夫さん

親せきです。

江刺 吉夫
エサシ ヨケ オ

(2) 120年前 喜茂川、小千町方面より升
江の川 越中(十バコシウ)を渡り
山根に入り 喜沢村の正敷に住つたよう
です

(3) 昔は上農工商とあって人内には格付けがあって
江刺は平民であつたが、昔はなつて 明治
初め 大政官布告により平民にも名前を付けることにな
り 志平は江刺郡(江刺市)出身であつた
ため 本町の江刺 町いふと思はれる

(4) 現在地域には 江刺の系統が軒を
立てて

母の旧姓です

尾花沢市上野

倉金 徳治さん

親せきです。

(1)

倉金 徳治

73年生 トウジ

(2) なんと百年前から不明 村の灰屋でつたとい
村の寺 薬林寺に先祖の経歴を丹ねたか
当の寺は約100年前に火災があったためその寺の
ことはわかるがそれ以前のことは不明

(3) 倉金家の先祖と云ふのは 戒名(イミナ)を調べ
て倉金の名はあり 歴代の氏名を見ても村の名や
と云ふことが出てくるが外は不明

(4) 現在地域には倉金と云ふのは 1軒

母のおじです。

①多い名字

1位 佐 藤

2位 斉 藤

3位 伊 藤

4位 高 橋

5位 阿 部

②その市にわたった名字

安 食(喰) (あじき)

叶 内 (かなうち)

笹 (ささ)

今 田 (こんた)

信 夫 (しのぶ)

丹 (たん)

④ めずらしい名字

米 屋 (よねや)

郷 野 目 (ごうのめ)

甲 州 (こうしゅう)

仙 台 (せんたい)

橘 岡 (たちおか)

平 賀 (ひらが)

保 角 (ほすみ)

巻 (まき)

新庄市小田島町 1-30

隠明寺 恒久さん

質問

① なんと読みますか

隠明寺 (おんみょうじ)

② 由来はわかりますか

はまりとはしませんが 岩手県 雲石 峠の
峠で 新庄の戸沢藩につかえた 武
で 戸沢様につかえて 新庄に落ち着きました

③ 同じ名字の人は、たくさんいますか

全国で 10 軒 程度 だと思います

④ その他 ぬずらしい地名や名字など
知っている事を教えて下さい。

名字 閉伊口 (はいのくち)

花鳥賊 (はないか)

協力ありがとうございました。
どうぞ、ポストに入れて下さい。

⑤ お寺のような名前なので選びました。

⑥ 一番最初に返事をくれた人です。

⑦ 全国でもぬずらしい名字で、新庄には
2 軒だけでした。

。新庄市 沼田町 2-31
塙 義人さん

周

NO.1. なんと読みますか

塙 (はなわ)

NO.2 由来はわかりますか

別の紙に書きました。

NO.3 同じ名字の人は、たくさんいますか

はい、新庄市には、塙という名字の家が
軒干(かん)あります。そのうち、軒は私の家の分家で
古いのは三百年以上にもなります。もう一軒はその分家の
分家でしょう。

NO.4 その他知っている事を教えてください

塙の名字については、日本家系協会から
発売されている「塙一族」という本が
あります。

協力ありがとうございました。
どうぞポストに入れて下さい。

。読み方がめずらしいので選びました。

。一番くわしく返事を書いてくれた人です。

。残念ながら、本は見つかりませんでした。

NO. 2 由来

私の家は、もとは中臣(なかとみ)の名字を名のっていました。

中臣氏は代々、朝廷の^{じんぎ}神祇祭祀(神様をお祭りする役)を受けもっておりまして。伊勢^{いせ}神宮の大宮司も中臣氏です。

今の^{いばらき}茨城県^{かしま}鹿島町に鹿島神宮というお社があります。この神宮は、昔、関東・東北の地方の平和を守るための祈願をこめて建てられた大社で、大宮司として中臣^{のりふさ}則房が、朝廷から任命されました。^{りょうち}領地として、この地方に、塙という地名があり、この時から地名をとって、名字が中臣から塙に改められたものです。

四代のちの大宮司の次男に生まれた人が、新庄藩主^{はんしゅ}戸沢^{とさわ}家に仕えるようになって、新庄に移り、現在に至っています。この人が、私の直接の先祖になるわけです。

(すばらしい研究です。からだに気をつけて、がんばってください。)
読みにくい字で ごめんなさい。

新庄市常葉町 8-9

巨勢 泰子さん

質問

NO.1. なんと読みますか

巨勢 (こせ)

NO.2. 由来はわかりますか

よくわかりません

NO.3 同じ名字の人はたくさんいますか
私の実家と、父の生れた家(尾花沢市延沢の龍護寺)です

NO.4. その他、知っている事など教えてください
父の生家の龍護寺の方に聞いてもらえば
詳しい事がわかると思います。

住所 尾花沢市延沢 巨勢利昌
TEL (0237) 28-2331

協力ありがとうございました。
どうぞ、ポストに入れて下さい。

。ただ一人の女性です。

。せ、かく辺事をもら、たのに、その後は、調べていませんでした。

鶴岡市

① 多い名字

1位 佐藤

2位 斉藤

3位 菅原

4位 五十嵐

5位 阿部

② その市に目だった名字

富 樫 (とかし)

成 沢 (なりさわ)

難波(南葉) (なんば)

剣 持 (けんもち)

①めずらしい名字

阿 毛 (あもう)

阿 波 加 (あわか)

菖 蒲 (あやめ)

薄 衣
碓 氷
臼 井 (うすい)

畝 (うね)

永 寿 (えいじゅ)

延 味 (えんみ)

興 津 (おきつ)

海 東 (かいとう)

姜 (かん)

③バガキを出した人

鶴岡市 みどり町 4-5
蛸井 勝正さん

問

NO. 1. なんと読みますか

蛸井(たこい)

NO. 2. 由来はわかりますか

わかりません

ごめんなさい

NO. 3. 同じ名字の人は、たくさんいますか

鶴岡市には、約 30 世帯、榊引町に約 40 世帯
あります。家族を含めると 200 名 ~ 300 名ぐらい
いるのではないですか。

NO. 4. その他知っている事など、教えてください

榊引町 黒川に たくさんの「蛸井」さんが
います。由来など も聞いたう
知ってるかも知れません。

協力ありがとうございました
ブログポストに入れて下さい

・蛸という字も、読み方も気に入って選
びました。

・一番気に入っていたんだ、たけで返ってきた時は特
にうれしかったです。

。鶴岡市木広町-22-3

浦島 一郎さん

。浦島太郎を連想して出しました。

。残念ながら返ってきませんでした。

。鶴岡市内には、5〜6軒でした。

。鶴岡市茅原西茅原 23-9

鱸 享さん

- 。魚のスズキと同じ文字だ、たので、選びました、
- 。残念ながら返、てきませんでした。
- 。市内には4軒だけでした。
- 。めずらしい文字なので、返事を期待していたのですが、残念でした。

番外編

その1. しょうじしょうじろうさん

山形 3人

尾花沢 1人

その2. すずきかよこさん

山形 1人

米沢 1人

その3. はやかわ まさみちさん

鶴岡 1人

その4. 佐藤 利夫さん 18人

ゝ 正さん 17人

ゝ しげおさん 20人

ゝ あきおさん 34人

ゝ ひでおさん 29人

鈴木 ひろしさん 33人

(山形市内)

その5. あへ
阿部 安部

おの
小野 小埜

きくち
菊地 菊池

さいとう
斉藤 西塔

さかい
坂井 酒井

しやうじ
庄司 東海林 莊司

なわ
名和 縄

いとう
伊東 伊藤

かねこ
金子 兼子

ごとう
後藤 五島

こんの
紺野 今野 近野

かまた
蒲田 鎌田

たけだ
武田 竹田

かわい
河合 川合 川井

まき
槇 真木

やはぎ
矢萩 矢作

すすぎ
鈴木 鱈

しむら
志村 指村

せいの
情野 清野

おおき
大木 黄木

あたち
安達 足立

かわだ
河田 川田

わたなべ
渡辺 渡部

あびこ
安孫子 安彦

わがつま
我妻 吾妻

くらがね
倉金 倉兼

あいた
相田 会田

おかた
諸 尾形 小形

かとう
加藤 嘉藤

はたけやま
畑山 畠山

私の家の場合

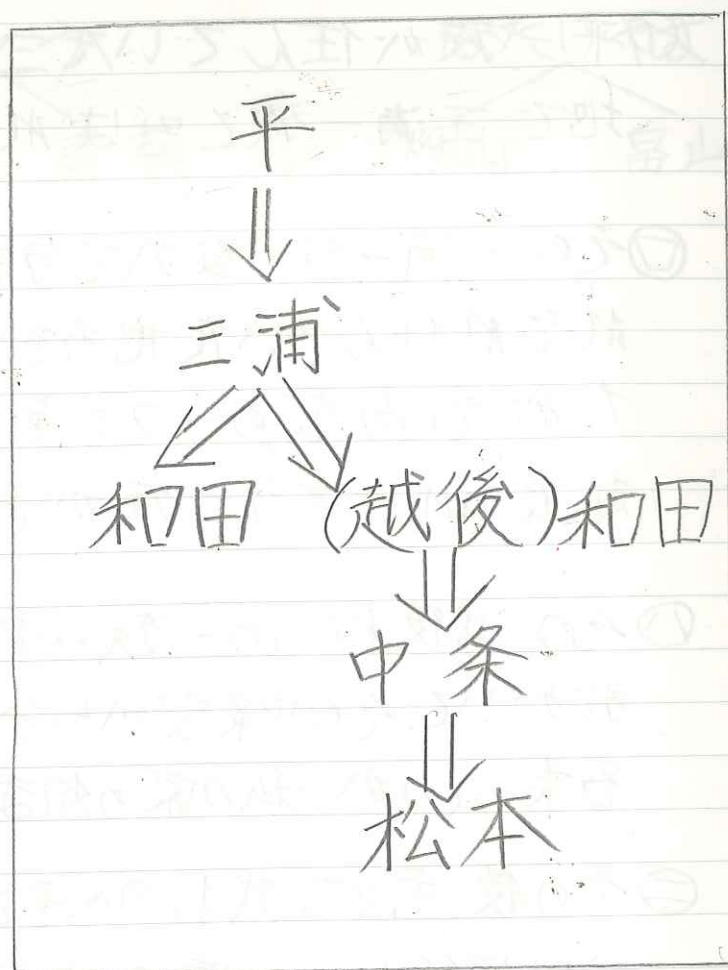
①平一族が住んでいた三浦半島が出身地で、三浦一族と呼ばれていた。

②その三浦一族のなかで分家して行き、それぞれ住んでいた地名を名字として名乗ったが、その分家の一つで新潟に移り住んだ越後和田という一族がある。

③その越後和田の一族の中に、中条という一族がいて、その中条家から分家して松本を名乗ったのが、私の家の始まりである。

④その後、色々な武将の人達と一緒に、新潟→岡崎(愛知県)→唐津(佐賀県)→浜松(静岡県)→そして水野藩の一族と一緒に山形の今いる場所に移り住んだのが、私の7代(150年)前らしい。

⑤松本の名前は、全国ではたくさんある方だが、この家系で現在、松本を名乗っているのは私の家が唯一軒だけだそう。



B 地名

地名調べ

方法

- ①山形県の地図や名簿などを見て調べてめずらしい呼び名や文字の地名を選び出す
- ②特にめずらしい地名が多かった真室川町と飯豊町の町役場に由来などの質問をする。
- ③返ってきたハガキをまとめる
- ④調べてわかったことをまとめる

県内のめずらしい地名 No. 13

①比 子(ひ こ)遊佐

②生 石(おいし)酒田

③手 向()羽黒

④留棹庵島(うたとあんば)鶴岡

⑤雷 (いかず)温海

⑥差首鍋(さしなべ)

⑦田 郎(たろう)

⑧及 位(のぞき)

⑨時 折(ひじおり)大蔵

⑩山刀伐峠(なたぎりとうげ)

⑪午 房 野(ごぼうの)

⑫正 蔵(しょうぞん)

⑬臍 気(おぼろげ)

⑭母 袋(もた い)

⑮銀 山(ぎんざん)

⑯鶴 子(つるこ)

⑰次 年 子(じねご)大石田

⑱左 沢(あてらざわ)大江野

⑲捩 森(むじなもり)上山

⑳梨 郷(りんごう)南 陽

㉑糸 畔(いとくろ)

㉒峠 (とうげ)

㉓飯 豊(いいで)

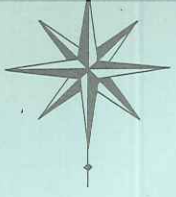
㉔手 の 子(てのこ)

㉕丸 才(くさい)

尾花沢

米沢

飯豊



酒田市

真室川町

新庄市

鶴岡市

温海町

尾花沢市

村山市

寒河江市

河北町

東根市

天童市

山形市

白鷹町

長井市

南陽市

上山市

川西町

飯豊町

米沢市

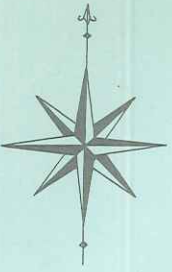
凡 例

年 組

氏 名

1 : 350,000

0 5 10 15km



酒田市

奥室川町

新庄市

鶴岡市

温海町

尾花沢市

村山市

寒河江市

河北町

東根市

天童市

山形市

白鷹町

長井市

南陽市

上山市

飯豊町

川西町

米沢市

凡 例

真空川町

真空川町とは

- 。山形県の最北端で、となりは秋田県。
- 。町の八十パーセントが山。
- 。農林業が主な仕事

調べた地名

⑧ 及 位 (のぞき)

⑥ 差首鍋 (さしゅなべ)

⑦ 田 郎 (たろう)

平成 3 年 8 月 21 日

松本陽子 殿

真室川町商工観光係

観光資料の送付について

先般依頼ありました観光資料を、下記のとおり送付いたしますので
よろしく願います。

記

送付部数

部

いろいろ調べてみれば、わかるな。自分へたくそで
さあね。別紙資料同封にしようかと参考にはれば幸い
ううわうらー。何場かへっぽあつたので。今更け真剣に
て下へるね。果敢にしようかと。勉強に入ろうとさあね。

下げ鍋館

下げ鍋は、普通差首鍋と呼んでいる。この館は、大沢川と西川によって囲まれた絶壁の上にあり、誠に堅固な館であるが、高い崖の上に位置するだけに飲料水に事欠き、鍋を下げて大沢川の水を酌み上げたと伝えられ、これが「下げ鍋館」の名称の起りだといわれている。

この館の東側、断崖の中腹に、人がやっと入れる位の洞窟がある。この穴はひどく屈折しながら、どこまでも続いている。入口から約五十米位までは、どうやら入って行くことができるが、それより先は狭くて進むことはできない。石を投げると、しばらく転がる音がして、最後に「ぼちゃん」と水の音がする。底の方から吹き上げる風は、夏でも寒い位冷たい。言い伝えによれば、こ

質問

NO.1. なんと読みますか。

の及位 (のどき)
 の差首鍋 (さしべしなべ)
 の田郎 (たらう)

NO.2. 由来はわかりますか。

の別紙
 の別紙
 の不詳

NO.3. その他知っている事を教えて下

の穴は崖下の大沢川に続いているのであり、館主の秘密の逃道であったとい、また、ここから鍋を下げて、水を汲み上げたのだというが、人工のものではないらしい。

下げ鍋館の館主は、大野東人の後裔にして、保元の乱の後、江洲香沢庄に住したが、天文年間、香沢但馬忠久という人の代、最上氏を頼って、この地に来たり、代々下げ鍋館の館主となったという。ところが、慶長元年、香沢掃部介忠国の時、彼は山形最上氏に従って戦死し、嫡子兵庫介忠家が幼少であったため、野崎館の家老であった香沢玄蕃が跡を継いだ。このころ、あるときは庄内武藤氏に従い、ある時は真室継延氏に従った。下げ鍋館が向いの山から火矢を放たれて落城したというのは、この時代のことようである。

元和八年、最上家大破の後には没落して、一族は四散し、あるものは高坂館に移り、後秋田に越したとい、あるものは中村部落にて帰農したともいう。玄蕃の娘が奉納したという黒漆の地に金の唐草模様を画いた膳碗が、滝の上滝尾寺に残されており、今に戦国乱世のおもかけをとどめている。

ご協力ありがとうございました。

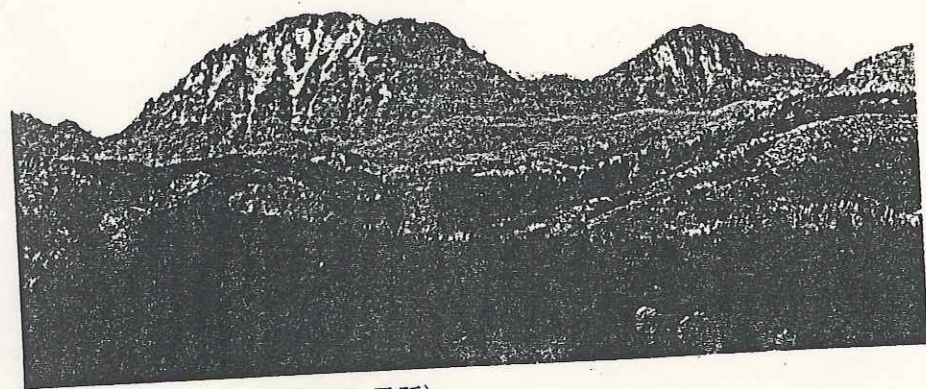
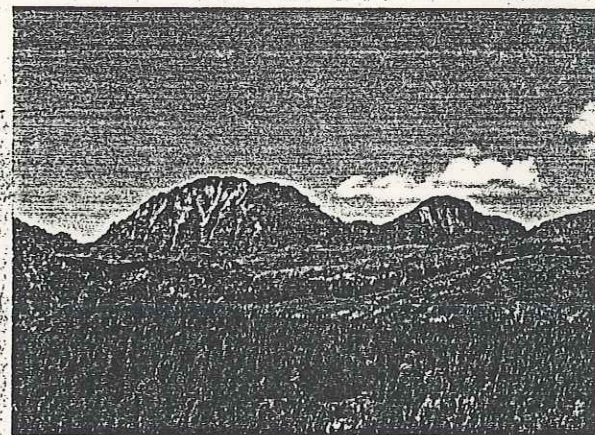
こしき山の修験者

その昔、こしき山のおこしきにはおすの大蛇、めこしきにはめすの大蛇が住みついていた。その大蛇たちは、年に一度村から米を取りあげ、三年に一度娘をさらうなど、百姓達を苦しめていた。

ある時、どこから来たのか一人の修験者がこの話を聞き、村人の苦しみを祈禱によって救えないものか、また自分の力を試すよい機会だとも思つて、そこで祭壇をつくりいざ祈禱しようとする、突然大風雨になりあつという間に祭壇は吹き飛ばされてしまった。大蛇の仕業だと考えた修験者は、村人によもぎを集めてもらいこしき山をいふした。大蛇は苦しみのあまり山を下り沼に入ってしまった。

修験者は、この間に祭壇をつくり、自分の命に代えても村民を救つてくれるよう神に一心に祈つた。これを見た神は、沼もろとも大蛇を埋めて退治してくれた。

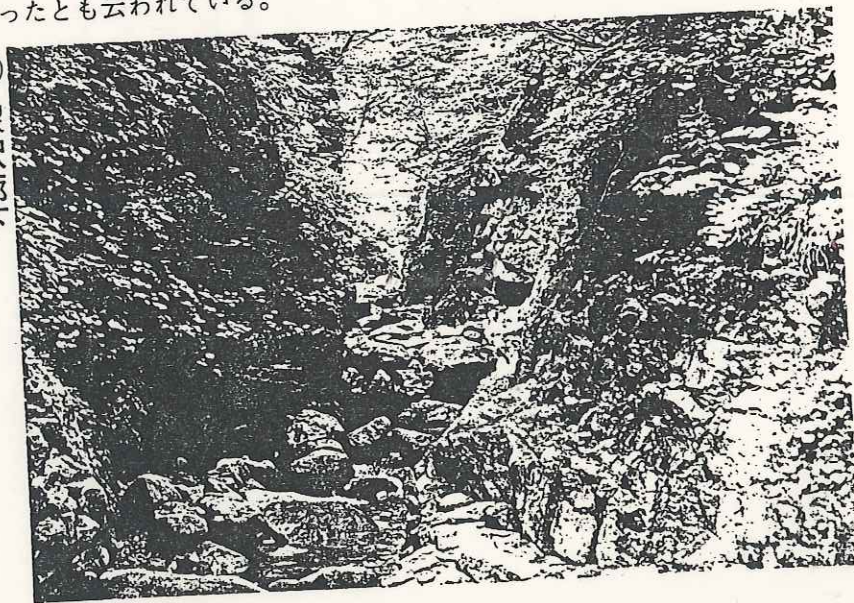
この修験者は、その後よりきびしい修業をするためこしき山へ登り、足を木に結び崖に逆さ吊りになつて難行を重ねた。やがて悟りをひらき、京に上つて時の天子より立派な位を授つたという。のぞきの行によつて位に及んだというので、それ以来この地を及位と呼ぶようになったといわれている。



⑱ 甑山 (右 女甑、左 男甑)

標高981m

男甑、女甑からなり、男甑の山頂が天上界と地上界の間であり山伏が修行したところといわれ約1m四方の平らな石が置かれている。ここから地上界をのぞくということから「及位」の地名のいわれとなったとも云われている。



⑲ 深沢廊下

両側約一〇〇mの絶壁

⑳

標高
真室
遠く
ず

資料を見て

・選んだ理由はおもしろい読み方だったので、3つ決めました。

・下げ鍋か、差首鍋の始まりだとは知らなかった。

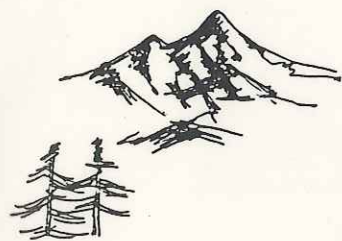
・及位の名の由来が送ってもらった資料を読んで、何種類もあるのにはおどろいた。どの言い伝えにも、山伏が出てきていたが修業をするのにちょうどいい位、昔は険しい土地条件だったのだと思う。

・4つの言い伝えがあったが、私は一番最後の資料のアイヌ語の「及位」と言うのが、一番近いような気がします。

及 位 (のぞき)

山形県と秋田県との県境には、飯山があつて真室川より臨んで、手前を雄飯山、向うを雄飯山と呼んでいる。その雄飯山に赤穴という風穴があつて、草の根や、木の枝に掴まなければ辿り着くことの出来ない非常に険しい土地である。その近くまで山伏が到着し、そこを修験場とした。そこは非常に淋しい場所だったので、赤穴を覗くには胆力が必要とするので、胆力さえ、しっかり、すわってれば、行けると人々は考えた。そして、そこに行つて、赤穴を覗い

てきたものに山伏の位を授けるといふ御触れを出したという事から、覗くことによつて、一段と高い位に及ぶと、いう事から及位というようになったと云う。又、アイヌ語によると「のぞき」は「大山の麓に開けた平地の中にある部落をさす」という事であるが、この地は山間の不毛地であつたから藩主は、この土地を不用の地として除き年貢を免じた事から、のぞきになったとも伝えられている。



1つの資料としてのせました。お家の方に読んでもらい、
これからの勉強に役だてください。

おばなざわの地名考察

★地名と地名学

地名とは、「特定ノ土地ニ付ケラレタ名称デアル……。」あるいは「その土地の名まえをいう……。」
このように特定の土地を区別するための名称だが、単なる土地の符号ではなく、その土地と人々のかか
わりを示す文化遺産であり、同時にその土地の風土や環境など地理的事実を物語る貴重な自然科学的資
料でもある。

ヨーロッパ諸国でも「地名学」あるいは「土地の名まえの学問」として独立した分野で研究されてお
り、地名学=トポニミー^{トポニミー} (英) はおおよそ次の四つに区分されている。

①名義の研究=ある地名の語源と起源を調べることであり、語源とは言語学的に追求したらその地名
がどこのどの言語に由来しているかということである。これに対して地名の起源とは、その地名がはじ
めて名づけられたときその名まえがもっていた意味のことである。

②地名原則の研究=その内容は複雑で多方面にわたっているが、地名の変遷、伝播、発達、分布な
ど法則的なことがらを研究することである。

③地名応用の研究=地名を研究手段にして地理、歴史、民俗、信仰などの問題を解明し、とくにその
土地の先住関係あるいは土地の利用推移、集落の発達史などを研究することである。

④地名正書法の研究=地名を正しく表記するためにはまえもってその地名を正しい形でとらえておく
必要がある。ましてわが国では、地名の大部分に表意文字の漢字を充てている以上、その地名に充てられ
ている漢字の正当性が疑わしい場合もあり、地名正書法の研究は、地名学にとってきわめて大切なこと
である。

一般にわが国の地名は、日本人が古来用いてきた日本語（朝鮮語、アイヌ語、マライ語などの要素が
入っている）の方言で古い時代に命名され、それを口伝えに呼んできた。それがしだいに漢字で表記さ
れるようになり、地名の大部分が後世の表記によるものという。

もともと文字を持たなかったわれわれの先祖は大陸から漢字が輸入されると地名にも用い、しかも格
式ばった字や品格のよい佳字を充てた。地名の謎を解くには漢字にのみたよらず発音を重視すべきなの
である。

★おばなざわの地名

地名の発生や、起源にさかのぼって解明することはむずかしいことである。だがその土地、その土地
の「なまえ」はどうして名づけられたのだろうか。地名のもつ意味をさぐることは興味深いことである。
市内各地の主な地名を地名研究の文献を参考にして調べてみることにした。

(その1) 平安末期、その土地その土地の特産物を朝廷に献納した。東北地方の「調」の中に鷺や鷹の
尾羽があり、おばなざわもその産地であったとされる。尾花沢が俗にオバネ=「尾羽」といわれるのはそ
—のためであるという。「出羽ノ国」の国名もイデハ=「以天波」と読み、鷺や鷹の羽の産地を意味する

という。出羽の地名は、日本書紀和銅元年九月の條に「越後ノ国の一部、田川、出羽の二郡を割いて出羽郡を建つ」あるのが史書にあらわれた最初である。庄内地方から秋田県の日本海岸地方は越ノ国の地続きであり、越ノ国の突き出た形、すなわちイデワ＝「出端」が地名の起りであると説き、この後者の説がより地名学的であるとされる。

(その2) 念通寺境内の歌碑の地名「尾花賀沢」について。本町地区の丹生川左岸河段丘の下台、田町の用水路にかけてあった石橋の石に歌が刻まれていることがわかり、念通寺の境内に移され保存されることになった。

歌は人麻呂(柿本?)のもので
「陸奥乃尾花賀沢乃人奈連波
沢瀉摺之衣着南満志
長暦二成寅四月

藤原実方興之

と刻まれているという。長暦二年(1037)といえば平安中期であり、柿本人麻呂が文武・持統朝(687～707)の時代に宮廷歌人として活躍してから三百五十年ぐらゐ経過したところである。この時代すでに尾花賀沢や沢瀉+(沢)の地名があったとすれば奈良朝時代をさらにさかのぼる地名起源ということになる。だがこの歌の使用文字を橋本進吉博士の「万葉集仮名類別表」さらには大野晋博士の万葉仮名の用字法則書ともいうべき「万葉仮名一覧」により照査するも興味深いことである。やはりこの歌碑や歌は、おばなざわに古くから伝えられた郷土色ゆたかな民俗資料的記念物として取り扱うのが無難なようである。

(その3) 地名学的考察によるオバネについて。オバネのハネあるいはパネは、粘土地のことである。オハ、この場合単なる接頭語と解釈されるが峯の意味を持つので粘土質の峰ともとられ、粘土質の長根山がつき出した地形が地名発生の源である。

江戸時代になると「尾花沢」のよび名が公式化するわけだが、元禄2年(1689)「奥の細道」の旅で芭蕉に随行した河合曾良の「日記」には「尾羽根沢」と記してある。また芭蕉をもてなした土地の富豪で偉大な文化人、残月軒清風こと島田屋鈴木八右衛門も発句者の住所として「オバ子＝オバネと記しているのがゆかしくもおもしろいのである。

このようにおばなざわの地名の名義や起源をみても「オバネ」の呼称がより古く正当性をもっていることが理解できると思う。

★地名の分類

地形や地質は、気象や民俗などよりも視覚的で性格が固定していることから地名の70%が地形方言であるといわれている。

わがまちの古い遺蹟によって古代の人間が、丹生川をはじめとする各河川の流域や、山地のふもとに生活をいとなんでいたことが知られる。市内の地名も、古代人の農耕文化に密着する形のものが多く。

地名を大別すると「自然地名」と「文化地名」に分けられるが、柳田国男博士の「地名の研究」によると地名を利用地名、占有地名、分割地名の三つに分類している。おばなざわの主な地名をこの分類法で区分するとおおよ次のようになる。

鶴巻田、荻袋、母袋、二藤袋、牛房野、五十沢、安久戸、押切、中島、行沢、毒沢、芦沢、岩谷沢などは川や谷、湿地に関係する地名である。名木沢、峰岸、巾、などは山や崖に関係する地名であり、これらの地形や自然物によって命名されたものを利用地名とよんでいる。

また桙、横内、寺内、柳渡戸、正殿、関谷、坂本、原田、銀山、三日町、九日町などは土地の占有や経済、信仰に関係する地名で占有地名とよんでいる。

さらに上宿、上町、上畑、中畑、下畑、北郷、南沢、古殿、新町などは方角、上下、新旧の区別によるもので分割地名とよんでいる。

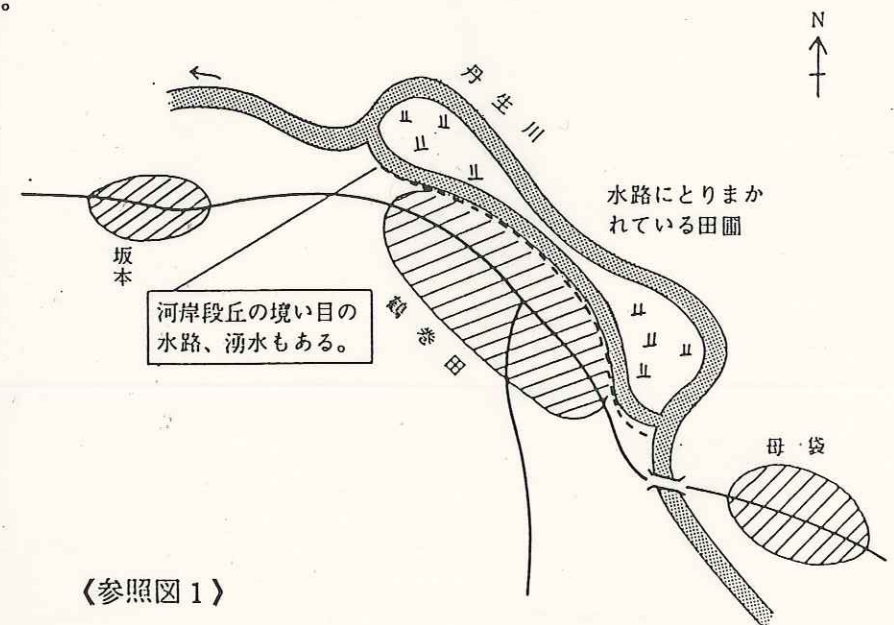
わたくしたちの先祖は、採集経済から農業経済の生活を営むようになり、山ろくど平地が接続する河岸段丘や、台地状の丘に住いを求めた。古い時代の農耕文化は、恵まれた土地環境を基盤に成立し、地名もまたこの時代にさかのぼって発祥したといわれる。

市内の地名は、広く知られている大字名のほか、小字名を尾花沢市史編さん委員会発刊の「各村小字地名一覧(稿)」からざっとひろってみても1872を数えることができる。これらの地名は多種多様で、命名されたその地名の意味、語源のわからないものもあるが、地形、地質など土地環境に機縁のある利用地名によって大半が占められているといつてよい。

★川などに関する地名

利用地名のうち比較的多くみられる河川、溪谷、水路に関する地名をひろってみよう。

鶴巻田 ツルマキタ。ツルは、水流あるいは水路のある低地のことである。丹生川河段丘と玉野原台地の境目の湧き水が水路を形ちづくっている。この地形が命名の源とみられ、水路に囲まれた田圃の意味である。



《参照図1》

⑩ 鶴子 方言では、ツルノゴとよばれ、ツルコではなくツルノコであろう。なぜなら、亀の子は、どうなまってもカメコにはなり得ない。ツルノコの語根を分解するとツルは水路、コはコウであり、この場合の～コウは、山地を指し水源地である山手の土地という意味に解される。鶴子は、銀山の全盛時代には

鉾山園の一面であり、佐渡相川の有名坑、鶴子金山（ツルシきんざん）と関係があるとの説もある。ツルはもともと朝鮮語系の語でツルのつく地名は九州地方に多く分布しているという。

- ⑪ **牛房野** ゴボウは、小さな谷、小平地を意味する語で谷あいの土地を意味している。

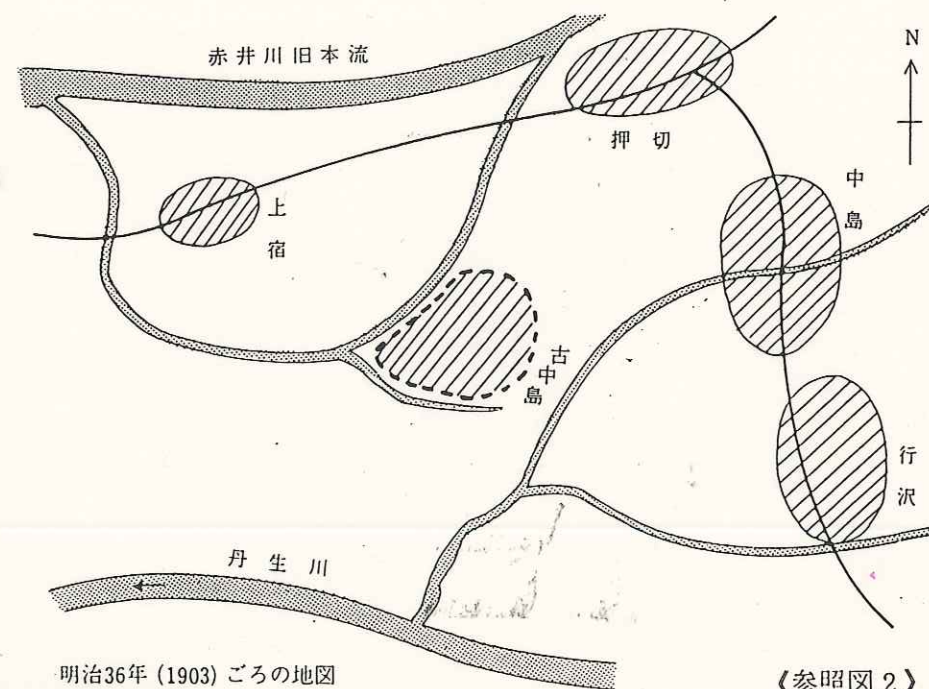
荻袋 オギノフクロ＝オギブクロ。オギは湿地を意味し、フクロは、フクラの類語で海や川の岸にある袋状の小地形を指す語である。丹生川の蛇行していた古い時代の地形から発祥した地名と考えられる。

- ⑭ **母袋** モタイ。タイは、海底の高み、高原、山腹の平坦な土地あるいは台地をいいフクロの類語でもある。河段丘に位置する小高い台地という意味の地名で丹生川と母袋川に面して山に入り込んだ台地の地形を意味している。

行沢の上台 エンダイ。この場合漢字の語句とおり上の台地を指す地名である。

二藤袋 ニトウブクロ。ニト＝ニタ＝ヌタの類語は、ヤチとよく似た湿地の意味をもつ語で、丹生川河岸の袋状の湿地から起った地名である。～タイ、～フクロのつく地名は、関東から東北地方に多く分布する地名といわれる。

中島 ナカジマ。シマは川と川の間の耕地のことである。丹生川と赤井川とにはさまれたその中にある田圃を意味し、この一帯の字が古中島とよばれ、中島の集落が最初この位置から出発し後代現在の土地に移ったといわれる。



【参照図2】

押切 オシキリ。オツキリ＝堤防の決壊した場所あるいは、暴れ川のある土地を指す語で、古くから赤井川のはんらんになやまされた押切部落の土地柄をあらわす地名である。地元の古老はつい最近まで赤井川のことをオキセ川と呼んでいた。洪水で、しばしば水害をおよぼすオシキリの瀬が、オキセに変化したものと考えられる。

朔日（ついたちいち） 十一日、二十一日（中町、禁）

七日、十七日、二十七日（上町）

延沢や大石田の市日を加えて尾花沢地域ではこのような市がローテーションされていた。そしてこれらの市で近郷近所の人々が集まり交易をするわけだが市を形成する原則は、日帰りの出来る一日コースの商業圏にあったという。

★難解地名やカナ表記の地名

地名は、本来その国その民族の言語によって命名され、口伝えされてきたものであった。

地名の漢字表記は、奈良朝のはじめ元明天皇の和銅六年（713）に漢字による地名表記の勅命が出されてからと伝えられている。

市内の大字地名のうちでも臈氣、延沢、正蔵、高橋の地名は解釈のむずかしい地名である。

- ⑬ **臈氣** オボロケ、ボロケをボケ、ボッケの類語と見れば崖地に関する地名ということができる。

延沢 ノベザワ、ノとへの複合語と見た場合、ノは傾斜地、へは集落を意味している。この土地は戦国武将野沢氏氏の拠った所として有名である。

- ⑫ **正蔵** ショウゴン、ショウだけを見れば、荘園地名のにおいもあるが、宗教的な信仰に関する地名だろうか。

高橋 タカハシ、語根の逆語順構成でもとらえることのできない難解地名である。

市内、1870余の小字名の中には、漢字表記でないカタカナ表記のものも数多く見られ、どれも個性の強い地名のようである。例をあげると牛房野地内のタタミキ、五十沢のマトバ、イカリ、南沢のケワイ、カタツキ、芦沢、名木沢のクラボネ、ピツタラ、トロ林、毒沢のヲカミ、高橋のニタロ、ガンジャ、ユキタ、クマドウ、北郷、原田地内のウバタン、センゲタン、カノスケタン、シメタン、ニツタン、寺町のハタホコ、下柳のニカイ、上野畑の古アツツ、アイノノ、延沢のタラボ、大ヒト、畑沢のカイホウ、細野のハンゲ、六沢のテルイ、ハヌキタン、モウチ、ラントウ、鶴子のノサカケなど、漢字を当てるにむずかしい地名語音をもっている。しかしながら、これらの地名にこそ古代方言の謎と命名の由来を解く鍵が秘められているのではないだろうか。地名研究はこれらの難解地名を解くことにあると思う。多くの方々の地名読解に挑戦されることをのぞむものである。

★町村合併前の旧町村名

最後に地区名（旧村名）にふれてふるさとの地名めぐりを終りにしたい。

尾花沢 十九代元徳天皇のころ鷲や鷹の尾羽を貢物にしたことが地名のおこりとされるが地名学的には、さきに述べたとおり、粘土質の山稜と沢から発生した地質と地形の合成地名である。

福原 地域一帯が広い原野でこの原野を農業の生産基盤にかえることにより村に福をもたらした人々に幸わせをさずける土地を保有する村ということで福原と名づけたという。

新しい村の誕生に当って開発にいとまうとする明治人の気魄がうかがえる明治21年（1888）命名の地名である。

宮沢 明治の村制施行の際、地域の西部、宮原と押切以東の地名、横沢の各一字をとって命名した合成地名である。

この地名には、順徳上皇潜幸伝説との結びつきがみられ、新生の村名を「宮沢」とよぶことはより高

資料を見て

。ひじょうにおもしろい地名が多かったので
選んでみました。

。山刀伐峠とか銀山とかの由来は、
はっきりしてわかりやすかったけど、他の
地名は送ってもらった資料を何回読ん
でもむずかしすぎてよくわからなかつ
た。

山刀伐峠⑩

。ナタで切り取ったようにずぶとけわしい峠
というのでつけられたらしい

銀山⑮

。昔、銀が採鉱されていたので銀山と名付けられた

飯豊町

飯豊町とは

- 。山形県の最南部でとなりは米沢市。
- 。飯豊山地ふもとで、町の大部分が山地である。

調べた地名

- ②③ 飯 豊 (いいで)
- ②④ 手の子 (てのこ)
- ②⑤ 九才 (くさい)

No. 1. 読み方

イ. 飯豊 (いいで)

ロ. 平子 (てのこ)

ハ. 九才 (くさい)

No. 2. 由来

イ. について、飯豊(いいで)の名が付いている地名には、飯豊

山と飯豊町とがあります。

あいつせいつき会津正統記という史書には、飯豊山を山岳信仰の山として開山した人は、唐(今の中国)の知道和尚^{ちどうおしょう}で、白雉3年(652年)夢枕に神霊^{しんり}が立来のに感じさとして、この山に登り、山が

たいへん美しく豊かにご飯を盛ったような形であるところ

から飯豊山(いいでさん)と名付けられたそうです。

飯豊町は昔、飯豊村と名のついていましたが、昭和29年

に、豊原村、豊川村、赤川村の三か村が合併してできた村

です。この時、シンボルであった飯豊山の山の名前を村

名にして、ご飯の豊かな地域であるようにとの願いが

込められています。

ロ. について、「平子」の地名には別紙の様な伝

説が残っておりますので、こちらとさせていただきます。

ただし最近ですが、次のようなことも論じられて

資料を見て

変わった地名だったので、選びました。

飯豊町というのは、ご飯の豊かな地域であるようにとの願いをこめてつけられた名前だということを送られてきた資料を見て、すごく納得しました。

手の子の言い伝えも、2通りほどあつたけれども、なんだかうそくさい由来でした。

手の子が全国でただ一つだけだそうだけれど、こんなへんな名前は、やはり他にはないと思います。

研究に 27 まで 8/28 (金)

C. ま と め

わかったこと

。名字や地名は、海の近くは海に関係のあるもの、山の近くは山に関係のあるものと、地域によって特ちょうがあった。

。地名などは、特にその場所の地形などがそのうちなま、そのまま地名になったのが、多かった。

。自分の家の名字の由来を知らないでいる人が、以外に多かった。

わからなかったこと

- 。名字や地名の読み方がわからなくて辞書で調べたのもあったけど調べたうちのほとんどがわからなかった。

失敗したこと

- 。鶴岡市の鳥(右側)をまちがえて見(観)と書いてしま、たためか鶴岡市かうの八カキのかい集りつが悪かった。

- 。あまりたくさん市の調べないで、1つの市だけを、もっとゆきりていねいに調べればまたまたくわしく調べられたと思う。

残念だったこと

- ・めずらしい土地名のたくさんある所に、本当は、直接行ってみたかったのだけれど、急がしくて行けなかった

うれしかったこと

- ・質問のハガキが予想以上に多く返ってきた
- ・ていねいに、質問の答えを書いてもらったこと

協力してくれた方々

・NTT山形支店の窓口の人

・山形市 桔梗昌治さん

・ ; 鞠子 利一さん

・ ; 幸福 健郎さん

・新庄市 埴 義 人さん

・ ; 隠明寺 恒久さん

・ ; 巨勢 泰子さん

・鶴岡市 蛸井 勝正さん

・米沢市 行方 源三郎さん

・山形市 江刺 吉次郎さん

・真空川町役場

商工観光課のみなさん

・飯豊町役場

産業課のみなさん

。尾花沢市役所観光課のみなさん

。尾花沢市 薮 未吉さん

参考にしたもの

。山形市

鶴岡市

米沢市 の各電話帳

尾花沢市

新庄市

。JTB日本交通公社出版「るるぶ山形」

。学研出版「クランド現代百科事典」

まとめ

- ・みんなが知っている名字だけど、調べてみると、本当に、色々な読み方があることがわかった。
- ・自分の家の名字の由来を知っている人は、以外と少なく由来を気にもしないで使っているせいもあるのかと思った。
- ・もう少し昔にさかのぼり、てくわしく調べようとしたけれど、昔にさかのぼればさかのぼるほどむずかしくなってきた。
- ・名字の始まりは、自分が住んでいる場所や、目印などで呼び合っているうちにできた、いいかげんな物が多かった。
- ・昔武士だったりした家の人から、他の地方から来て、そこに住みつき分家して、その名字が増えていったのも、割合多かった。

。同じ「かわた」でも、「川田」と「河田」とがあるように、同じ読み方でも、字がちがうのが、ずいぶん多かった。

時間があたら、このような、字のちがいでついても調べてみたかった。

。今では名字が無いなどというのは、考えられないが、昔、特別な人以外は名字を名乗れなく、明治に入、て、名字をつけることを義務づけられるようになった。たのめみんな、以外と簡単な動機で名乗、た人が多かった。

。地名にも、それぞれ、民話のような言い伝えがあって、それにちなんでつけられた地名が多かった。

。なかでも、飯豊の由来は、一番わかりやすかった。

。研究を進めるうちに、「名字」と「苗字」とが出てきて、最後までどちらが本物かが、わからなかった。

。地名はその土地の地形や方角などからできて、その土地の方言で呼ばれているのかほとんどだと書かれていたけど、色々な町や市の地名を調べてみると、その町の川や山や沼とかにちなんで呼んでいたのが、いつか方言でなまったりして、それが地名になったというのがほとんどだった。

。電話帳や地図帳などを見て、おもしろい地名や名字を探したりなんど読むのか調べたりするのが大変だと思、っていたけど、やっていたらおもしろくな、てきた。

。色々な名字などの人を見ると、文字を見て、昔こうだったからこういう名前なのかとか、連想するようにになりました。

。色々親切に教えて下さ、った人に、機会があ、たら、お礼のハガキを書いて、出、そうと思、います。